



東京港野鳥公園 TOKYO PORT WILD BIRD PARK

http://www.wildbirdpark.jp/

■所在地 〒143-0001
大田区東海三丁目1番
■問合先
東京港野鳥公園管理事務所
TEL:03-3799-5031
FAX:03-3799-5032

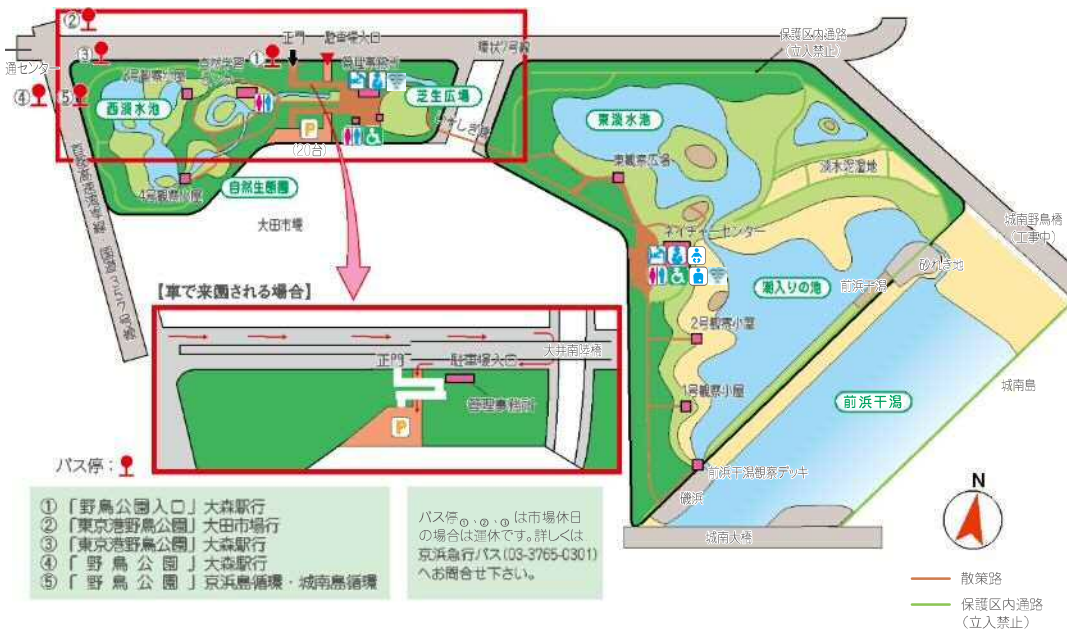


公園すべてが野鳥の生息地です。初夏には巣作り・子育て、春・秋には長い渡りの中継地、冬は冬越しと鳥たちが安心して暮らせる場所です。そっと観察してください。また、公園の自然に親しみ、学ぶことができる様々な行事を行っています。

東京港野鳥公園は「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ」(右ページ参照)に基づく重要生息地ネットワークの参加湿地です。

※生きものの採取は禁じられています。

- 開園年月日 ● 昭和53年4月1日
- 開園面積 ● 360,208.59㎡ (うち水域118,544.35㎡)
- 施設 ● ネイチャーセンター／鉄筋コンクリート造地上3階地下1階
1F展示コーナー・図書コーナー・観察ロビー／2Fレンジャーコーナー・観察ロビー・視聴覚室／3F観察ロビー／B1F遊歩道(がた湯ウォーク)
- 自然学習センター／木造平屋
里地・里山行事や工作で利用しています。
- 駐車場(20台)／無料 ※大型バスでのご来園の際は、事前にご連絡ください。
- 開園時間 ● 2月～10月 9:00～17:00まで
11月～1月 9:00～16:30まで 閉園時間30分前まで入園の受付を終了します。
- 休園日 ● 毎週月曜日(月曜日が祝日又は都民の日の時は、翌火曜日が休園日です。)
年末年始(12/29～1/3)



◆ネイチャーセンター(外観)



◆ネイチャーセンター(館内)

入園料 ●

	個人	団体	年間パスポート※
一般	300円	240円	1,200円
中学生 65歳以上	150円	120円	600円

- ・団体割引は20人以上です。
- ・入園料が無料となる方
小学生以下の方、都内在住・在学の中学生、引率の教員(正規の教科の場合)、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・愛の手帳をお持ちの方など

※2019年5月から発売

学び、楽しむー 自然観察・教育活動のサポート

当公園では、野鳥の生態や自然のしくみについてレンジャーが親切に解説し、さまざまな疑問にもお答えします。学校の社会科見学活動や地域サークルのご利用に対しては、ご希望に応じた内容の観察プログラム(事前申請制)も提供いたします。

ボランティア 活躍の場

野鳥公園は、お客様への自然解説、イベント運営などにボランティアの方が活躍する公園でもあります。ボランティアの受け入れは随時行っております。その他、各種イベントの開催時期などのお問合せや申し込みはお電話で。

交通アクセス

●バス停留所

モノレール「流通センター」下車/徒歩15分
京急バス JR「大森駅」東口または京急「平和島駅」から森24、25、32、36、43系統「東京港野鳥公園」または「野鳥公園」下車



◆シギの群れ

観察用の双眼鏡を無料でお貸ししていますので、お気軽にお申し出ください。

東アジア・オーストラリア地域 フライウェイ・パートナーシップ (渡り性水鳥保全連携協力事業)

日本の渡り鳥が移動する地域のアメリカ、ロシア、中国、韓国、東南アジア、オーストラリアなどの国々やNGOがいっしょになって、水鳥やその生息地となっている湿地の保全を進める国際協力事業。東京港野鳥公園は、谷津干潟や大阪南港野鳥園、熊本県の球磨川河口などとともに、シギ・チドリ類の重要な生息地として参加しています。



◆田んぼクラブの様子